

## 後期臨牀研修プログラム（リハビリテーション科）

### 1) 目的

リハビリテーション科の専門医師を目指しておおいに羽ばたいて頂くために、すべてを経験し、自分で考え、判断し、行動できるよう十分に研鑽することを目的とする。

現在、全国的にはリハビリテーション専門医は約 1100 名（H17 年 11 月現在）であり、ニーズは高いにも拘らず他の診療科に比べて専門医が非常に少ない。また、リハビリテーション研修施設は全国 383 病院で兵庫県内は当院を含め 8 病院だけである。大半は大学病院とリハビリ病院であり、当院のように急性期疾患を扱い、かつ市中の総合病院としてリハビリテーション認定施設として認められる病院は少ない。そこでまず、臨床認定医を修得し、次に専門医さらには指導責任者の認定をめざして頂くことを希望する。

### 2) 当院での考え方

リハビリテーションはこうでなければならないというものはない。他の診療科では内科とか外科とか臓器別診療とか、科としての領域や境界を敷いている場合が多いと思われるが、当院リハビリテーション科にはそのような境界はない。つまり、必要があれば手術もす

るし、いろいろな検査や注射等の治療も行う。リハビリテーション科に係わった患者様に十分理解され、早期に社会復帰や退院に寄与すると考えられた場合はできるだけできることはするというのが最大の方針である。

### 3) 当院の特色

研修指定病院

総合リハビリテーション基準認定

中播磨リハビリテーション広域支援センター

リハビリテーション中核病院

の指定を受けている。

さらに、病院全体が、急性期疾患を扱い、姫路市の中核病院であるため当院はあらゆる疾患を経験することができる。ただ、うかうかしてられない。当院の特性上、入院期間は平均 11 - 14 日であるため、最初が肝心である。疾患の特性と標準的経過を十分把握した上で、患者様は一人一人違うという意識をもって係わっていかねばならない。そして、急性期から亜急性期の時期をより早期に、より確実に、より安心して機能回復に向かえるようかかわっていく必要がある。通院での診療は原則 3 ヶ月までである（これも急性期病

院としての特色である)。ただ、小児疾患では子供の成長による変化を、整形外科、脳神経外科疾患の一部では加齢による変化をみる必要があるため定期的経過観察をする場合がある。係わった人がその後どのような経過をたどるかを知るということも、医師としての重要な使命であり診療の一部である。